

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク

## 1 事業の成果

今年度も琵琶湖淀川水系で唯一となったアユモドキ個体群の生息環境の保全、調査を中心に活動を行ってきた。

6月のラバー堰下流でのアユモドキ救出個体は、一昨年度39尾と同じく39尾であったが昨年度の59尾を下回った。2014年の3尾から、徐々に回復の兆しもあるが2012年の147尾の水準には回復していない。秋の推定個体数調査の結果は、当歳魚1,087尾、1歳以上魚381尾であった。当歳魚は過去5年にわたり300～500台をキープし、2009年の2,236尾に次ぐ結果であり、保全活動の効果を認めることができる。一方で、それに応じた1歳以上魚の増加は認められない傾向があり、調査の継続が重要である。今年度も、アユモドキの減少原因調査、増殖方策検討のため、桂川合流部と曾我谷川上流部で移動状況調査、生息地改善対策等を行った。

環境省が4つのため池に設置している外来魚流下防止トラップの内、安町大池でオオクチバスが確認され、地元土地改良区の協力を得て11月から12月に駆除・調査を行い、オオクチバス118尾、ブルーギル3尾を駆除することができた。

亀岡市等と連携してアユモドキなど自然環境保全に関する普及啓発活動を行った。昨年度に竣工したサンガスタジアムのアユモドキ飼育・啓発支援活動を継続している。

亀岡市内には希少種ヤマトサンショウウオが生息しており、今年度から夏原グラントの支援を得て調査・保全活動を行い、卵塊から幼生、幼体、成体に至る各成長段階の生態データを収集することができた。次年度からはアライグマによる食害防除の保全活動を計画している。

アユモドキ生息域とその周辺では、公園整備や圃場整備、道路、河川改修事業が計画及び実施されている。今後も人と自然の共生のため、アユモドキなど自然環境の保全に取り組んでいきたい。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	当該事業の 実施日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金額 (概算) (単位：千円)
(1)野生生物、 生態環境等に 関する調査	口丹波地域アユモドキ保 全回復事業	令和2年5月15日 ～ 令和3年3月26日	曾我谷 川周辺	200人	京都府民 260万人	1,760
	アユモドキ分布状況調査 ・生物多様性推進事業	令和2年5月7日 ～ 令和3年1月31日	曾我谷 川周辺	160人	淀川流域 1280万人	2,280
	ヤマトサンショウウオの 生息環境保全事業	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日	亀岡市 内	20人	亀岡市民 9万人	350

(3)野生生物、 生態環境等に 理解を深める 啓発活動	普及啓発活動	令和2年7月1日 ～ 令和3年3月31日	亀岡市 内	50人	亀岡市民 9万人	180
--------------------------------------	--------	----------------------------	----------	-----	-------------	-----